

最優秀賞受賞！

このほど、全国中学生人権作文コンテスト青森県大会審査会が行われ、小野莉沙奈さん（大戸瀬中1年）が、最優秀賞を受賞しました。



弟が教えてくれたこと

大戸瀬中学校1年 小野 莉沙奈

みなさんは、障害者をどのように思っていますか？きつと「普通の人ならできるとか、できなくて可哀相」などと思ってる人も少なくないと思います。実際、私もそうでした。私たちのように普通に生活ができて、何もかも人の助けがないと生きていけないというふうに、不便だとか可哀相だなと思っていました。しかし、その考えは違うと思うようになりました。

私は3歳年の離れた弟がいます。弟は、知的発達遅滞で、言葉の遅れ、手先が少し不器用な所があります。それでも時間はかかりますが、自分なりに一生懸命がんばっているのは私にも分かっています。そんながんばっている弟に可哀相だと思っ

てはいけません。私がいかに可哀相だと思っ

たか、弟は人として、私と同じように生きています。私には3歳年の離れた弟がいます。弟は、知的発達遅滞で、言葉の遅れ、手先が少し不器用な所があります。それでも時間はかかりますが、自分なりに一生懸命がんばっているのは私にも分かっています。そんながんばっている弟に可哀相だと思っ

たか、弟は人として、私と同じように生きています。私には3歳年の離れた弟がいます。弟は、知的発達遅滞で、言葉の遅れ、手先が少し不器用な所があります。それでも時間はかかりますが、自分なりに一生懸命がんばっているのは私にも分かっています。そんながんばっている弟に可哀相だと思っ



町長がめざす町の姿は？

～「深浦町連合婦人会」との町づくりグループミーティング～

町長との直接対話を通して、よりよい町づくりのための意見交換を行う「町づくりグループミーティング」が、12月17日、フィットネスプラザゆとりにおいて行われました。

お相手は「深浦町連合婦人会」のみなさん。昨年町内にあったすべての婦人会を1つに統合し、現在の会員数は196名。各種行事への参加や独自の活動を通じて、会員同士の交流を深めつつ、地域を明るく元気づける一役を担っています。今回は38名の会員が参加、普段のくらしや活動の中で感じていることを話していただきました。

はじめに、町長が町の現状や雇用の創出に繋がる産業振興の取組などを、クイズ形式で講演。町長自らがユーモアを交えて意外なプライベートの一面を披露すると、真剣に聴いていた参加者から思わず笑いや驚きの声があがり、会場は和やかな雰囲気になりました。